

2013年10月2日

## 横浜ゴム、氷上性能に特化した乗用車用スタッドレスタイヤ 「iceGUARD Evolution iG01」を北海道限定で発売

横浜ゴム（株）は、氷上性能のさらなる向上に主眼をおいて開発した乗用車用スタッドレスタイヤ「iceGUARD Evolution iG01（アイスガード エボリューション アイジーゼロイチ）<sup>※1</sup>」を10月25日より北海道限定で発売する。発売サイズは195/65R15 91Qで、価格はオープンプライス。

※1：愛称「アイスガード エボリューション アイジーゼロイチ」 製品名「アイスガード iG01」

「iceGUARD Evolution iG01」では、YOKOHAMA スタッドレスタイヤ史上最高の氷上性能を誇る乗用車用スタッドレスタイヤ「iceGUARD 5（アイスガード ファイブ）<sup>※2</sup>」の「スーパー吸水ゴム」をさらに進化させた。氷の上でタイヤが滑る原因となる薄い水膜を吸水する「新マイクロ吸水バルーン」を約1.5倍に増量するとともに、吸水効果を補完する従来の「吸水ホワイトゲル」を最新技術で最大30倍に大きくした「エボ吸水ホワイトゲル」を開発。水膜の吸水力を飛躍的に向上させた。さらに、氷路面への接地性を高める「シームレスブロック」や優れたエッジ効果を発揮する「ジグザグメイングループ」など新技術を搭載した新トレッドパターンを採用。これにより「iceGUARD 5」に比べ、氷上制動性能を20%<sup>※3</sup>、氷上コーナリング性能を12%<sup>※3</sup>高めている。

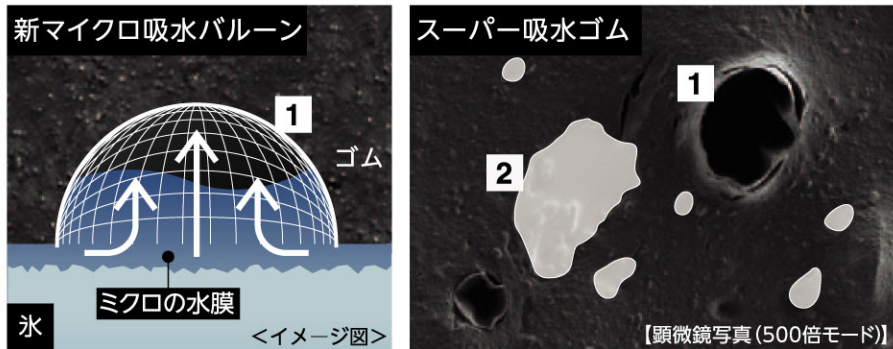
※2：愛称「アイスガード ファイブ」 製品名「アイスガード iG50」 ※3：詳細なテスト内容は参考資料をご覧ください。



このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）広報部 担当：田中 山下  
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

## 「スーパー吸水ゴム」の吸水力を飛躍的に向上

### 1 進化した「スーパー吸水ゴム」で水膜除去 新開発「エボ吸水ホワイトゲル」採用

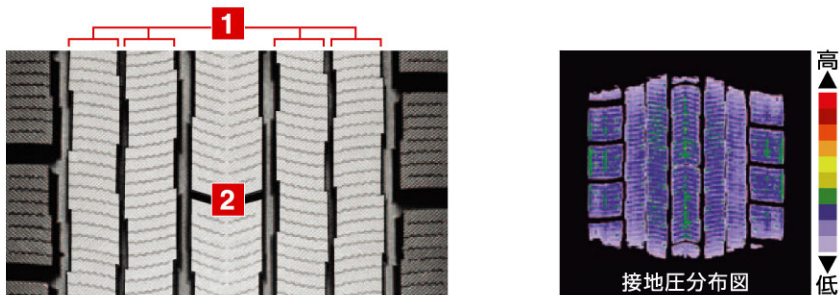


#### 1 新マイクロ吸水バルーン 2 エボ吸水ホワイトゲル

アイスガード5で採用の「新マイクロ吸水バルーン」の量を約1.5倍に増やし、さらに従来の「吸水ホワイトゲル」の大きさを最大30倍にした「エボ吸水ホワイトゲル」を開発。この2つの親水性素材によって進化した「スーパー吸水ゴム」は、飛躍的に吸水力が向上。氷路面とより密着し、さらに「新マイクロ吸水バルーン」のカラのエッジ効果が加わることで、氷をしっかり噛む。※写真は一例であり、形状や密度が異なる場合があります。

## 氷路面への接地性を高める新技術「シームレスブロック」を採用

### 2 氷へピタッと密着 新開発「シームレスブロック」採用



#### 1 シームレスブロック 2 ベルトブロック



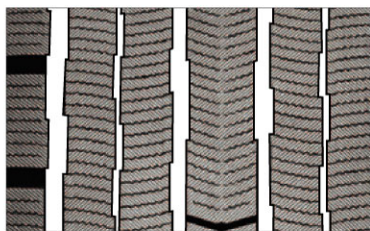
進化した「スーパー吸水ゴム」の性能をさらに発揮するために、細かく刻んだブロックが互いの倒れ込みを抑制しつつ、均一な接地圧で氷路面の凹凸にしっかり

接地する「シームレスブロック」を周上に配置。さらにセンターの「ベルトブロック」で接地面積を広く確保し、氷路面への追従性も向上。

## 新グループ「ジグザグメイングループ」が優れたエッジ効果を発揮

### 3

### グループのエッジ効果でさらに氷を噛む 新開発「ジグザグメイングループ」採用



トレッドパターンには、主溝がストレートではなくジグザグ形状の「ジグザグメイングループ」を新たに配置。ジグザグ部のエッジが「ひっかけ効果」を飛躍的に向上させ、氷を噛む。アイスガード5の開発の中で生まれた最新技術を惜しみなく採用。

## 性能比較データ

### 氷上ブレーキ性能とコーナリング性能を向上

#### 氷上制動距離20%短縮 <氷上制動テストデータ(指数)>



#### 氷上旋回タイム12%短縮 <氷上旋回テストデータ(指数)>



氷上制動距離 iG01:12.2m, iG50:15.2m<制動距離差3.0m(指数20)><試験条件>テスト日程/2013年9月17日, テスト場所/軽井沢風越公園アイスアリーナ, 路面状況/氷上, 気温/13.5℃, 氷温/-0.7℃, 制動初速度/20km/h, 制動方式/ABS制動, タイヤサイズ/195/65R15 91Q, リムサイズ/15×6J, 空気圧/(F)230kPa/(R)220kPa, 車両/トヨタ オリス(ZRE152H)・FF・1800CC, 乗車人数/2名乗車相当

氷上旋回タイム iG01:13.53秒, iG50: 15.45秒<旋回タイム差1.92秒(指数12)><試験条件>テスト日程/2013年9月17日, テスト場所/軽井沢風越公園アイスアリーナ, 路面状況/氷上, 気温/10.1℃, 氷温/-1.6℃, タイヤサイズ/195/65R15 91Q, リムサイズ/15×6J, 空気圧/(F)230kPa/(R)220kPa, 車両/トヨタ オリス(ZRE152H)・FF・1800CC, 乗車人数/2名乗車相当

\*テスト結果に関する詳細なデータは、タイヤ公正取引協議会に届け出てあります。タイヤの表示に関する公正競争規約に定められた試験方法で試験を行っています。

記載した数値は、あくまでも一定の条件下で計測されたものであり、車両の性能、気温、路面状況等により変わります。